

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	春先からは玄関も開放しいつでも、誰もが気軽に遊びにこられるように、又利用者と地域の方々との交流をもっていきたいと考えている。理念は正面玄関に掲げ職員の意識の統一を図る為目標はホールに掲げてげている。	○	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	新規の採用時と月 1 回の全体会議で繰り返し話している。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	新聞を年 4 回発行し地域に配布家族にも面会や行事への参加時にその都度話している。		
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域活動への参加とホームで行う行事、ボランティアへの呼びかけなども行っている。	○	もっともっと努力しなければと考えてはいるが日々の仕事に追われ不足と考えている。もう少しばかり時間が掛かるが努力していきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	年1回自己評価を行い、月ごとの話し合いで大体理解されてきていると思っている	○	スタッフの退職などもあり、役割をなかなか理解されていない点もあるがそれぞれが日々試行錯誤しながらも頑張っており外部研修に参加しながら質の確保を計って行きたい。
6	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者の状況、施設内での問題等上表を開示し意見を聞く機会是非常に大切と考えている。又施設を理解していただく良い機会なので継続し、協力していただけるよう努力していきたい者です。		
7	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	月末には利用者状況の提供、認定調査の協力、福祉事務所などと相談しながら協力体制を築いている		
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	愛護手帳を持っている方や、家族のいない方などお金の管理や看取りなど地域包括の保健師、福祉事務所の担当者、ケアマネ等問題がおきた時には協力体制をとっている		
9	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	押さえつけない、上から物を言わない、子ども扱いはしない、出入り口に鍵を掛けないなど職員には常日頃、体罰ばかりが虐待でなく言葉の暴力もある事を言っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
10	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時十分説明しており納得されていると思っている		
11	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会時利用者にも折に触れ聞いている、又介護相談員の受け入れも行っている。		
12	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月はじめ請求書書送付時に小遣帳のコピー、状態報告、献立表、行事予定表など同封している。また家族の面会時には小遣帳の確認をしていただきサインして確認している。		
13	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	⑪に同じ		
14	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月末に本部会議の報告と全体会議を開催しそれぞれの意見を聞き反映するようにしている		
15	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	緊急連絡網を書くSSに掲示し夜間緊急時の体制をとっている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	出来るだけ移動は行わないようにしているが欠員が生じたときにはやむをえない事もあり普段からお互いのユニットの利用者の状況がある程度知っておくようにはなしている		
5. 人材の育成と支援				
17	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	今年度から公平に研修に出かけられるよう配慮している		
18	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	夏祭りぐらいで普段の交流はない	○	地域的な環境もあり難しいが取り組んで生きたい
19	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる	なかなか思うように出来ない	○	年一度の旅行、食事会など行いたい但勤務の関係上難しく出来ていないが今後取り組んで行きたい
20	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	殆どが未経験者の為新採用時に十分とはいえないが話しており、勉強会を毎月開いてはいる。	○	内部研修、外部研修への参加を通し知識を得るように行きたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
21	○初期に築く本人、家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	申し込みの時には本人がまず納得される事が大切である事を家族に理解していただく事、本人様も施設内を見学、日帰りの体験、泊まりの体験をとうし不安感を軽減できるようにしている		
22	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	介護保険でのサービスも含めグループホームの役割を説明する中で本人がどこで生活したら幸せなのかを時間を置いて家族が十分考えられるよう、またいつでも相談を受けるようにしている。		
23	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	不安を取り除くため各ユニットへの紹介、職員も利用者に話しかけるなど、心配りをさせていただき、家族には2～3日ごとに状態の報告。面会も欠かさないう話している		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
24	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の大先輩である事を認識するよう職員には常に話している、また一緒にできる事、家事、草とりなど一緒に動くようにしている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ホームの行事、イベントなど一緒に参加していただけるよう文書などで連絡し疎遠にならない様、働きかけている。		
26	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	随時面会や外出、外泊、外食等、いつでも自宅に出かけられるよう繰り返し説明している		
27	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お友達、親族、自宅に行きたいとの要望には自由にし希望に沿うようにしている。		
28	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	皆仲良く協力しながら生活が出来るよう作業も一緒に行えるよう声がけをしている		
29	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	いつでも相談できる事を伝え電話などで近況を聞くようにしている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
30	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	時間を要しながら家族、本人に聞き無理強いする事なく聞くようにしている	
31	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人が携わってきた事、暮らしの習慣、得意な事など機会を見て把握するようにしている。	
32	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	各勤務状態の中で観察し情報を共有している	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
33	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	気づきシートでできる事への支援、できない事への支援、をスタッフに記録してもらいプランに反映している。	
34	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状況を把握し3ヶ月、6ヶ月、1年、状況の変化に応じ見直しをするようにしている	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
35	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々気づきのあるサービス、一人一人に気持ちを寄せるケアを心がけカードックス、ファイルに個々の記録をしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
36	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	デイサービスの開設によって希望者には利用させている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
37	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の行事への参加は本人から聞きながら参加させている		
38	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	時々担当だったケアマネが面会に来て色々話しているがケアマネは入居時点でその役割を終えたと思っている人が多い		
39	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	色々相談をしながら行っている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
40	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からの係りつけ医から切り離すことなく定期的な通院の支援をしている。		
41	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	総合病院のメンタル科の指導を受け精神的な安定が図れるよう支援している		
42	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	准看護師ではあるが24時間体制をとっている		
43	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時の医師の治療計画、看護計画、退院後の健康管理などその都度話し合いできるだけ早期にもどれるよう入院時点で話し合いをしている		
44	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時には施設を望む事が多いが重体化した場合は病院を希望する家族が多い		
45	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	施設での生活が困難と判断した場合はかかりつけ伊に相談、又家族と協議しながら生活するよう努力しているが看取りまでは今の時点では難しいと考えている		ターミナルケアに向けては今後の課題と考えている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
46	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	施設関係者、家族、本人の意向を十分聞き、住み慣れた地域で生活が出来るようにしている。又環境の変化によって精神的な不安が強くならないよう家族にも協力を要請している		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
47	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員には常日頃支援時には十分な説明の元自尊心を傷つける事のないよう、また言葉には注意するよう話しており理解されていると考えている		
48	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	～さん。どうしましょうかお願いしたんだけどなど声がけし命令ではなく自己決定が出来るような働きかけをしている	○	勉強会、又全体会議で繰り返し話してはいるが理解されない職員もいる為他のスタッフたちがお互いに話し合いながら進められるようにしていきたい
49	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	寝ていたい人、歌を歌いたい人、TVを見ていたい人それぞれですが一人一人が自由にゆったり過ごせるようにしている		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
50	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	定期的に理美容は出来るが本人がなじみのところもあり送迎もしている		スタッフの都合のつかないときには家族に説明してもらっている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
51	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日昼食時のみではあるが職員も見まもりや声かけ食材、調理の味について話しながら一緒に食べている		
52	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	DM以外の方には制限するすることはないがお酒、タバコは禁じている。		
53	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	トイレでの排泄が基本と考え時間ごとの声かけ誘導をおこなっている。又常時オムツ使用者には2時間毎と目安は決めているが状況により交換し、トイレでの排泄を心がけている		
54	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日希望者を募ったり拒否傾向にあるときは介護者を変えたりやや時間を置いたりしいつでも一人でゆっくり入れるよう配慮している		
55	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	好きな時間、好きな時に自分の居室で自由に過ごされている		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
56	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	茶碗拭き、テーブル拭き、庭の草むしり、洗濯のたたみ他外食、食事前の体操など行っている	○	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	しまい忘れが多く利用者は所持していない。外出時には好きな物を選ばせたりしているが本人たちがレジに並ぶ事を拒否する為所持させていない。		
58	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	冬の時期が長く思うように外出できないため天気を見ながら春からは希望に沿うようにしている	○	天候を見ながら散歩の機会を多く持ちたいと考えている
59	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	利用者とは遠出もするが家族とは車の関係もあり思うように出来ていない。	○	家族と一緒に出かけたいと思っているが配車の関係でできていない為車の購入をお願いしている。
60	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時には行っている		家族にも繰り返し電話があってもよく話を聞いてくださいと話している
61	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	入居時に十分説明しており面会時にはホールや居室で一緒にゆっくり過ごせるようにしている。		
(4)安心と安全を支える支援				
62	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全ての職員が知っている。玄関は夜間は自動としているが日中は手動とし風除室はできるだけ開放している。外に出ようとする利用者には拒否することなく一緒に出て行く		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室には鍵はなく職員も十分理解している		
64	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	ADLの状態を把握し特に移乗時、立ち上がり時、歩きはじめには特に注意し声がけ、見守りをしている		
65	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	消毒類、刃物、は高いところに置き、洗剤等は鍵の掛かる場所に置いている		
66	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	常に目配りを忘れず内服薬などは一人一人の名前を薬包紙に記入, するなど配慮している。火災、地震などの緊急時の訓練も年2回行っている		
67	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	消防署に依頼し全職員が講習を受けている。また内部研修を行っているが定期的ではない		
68	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難場所、避難口ど、利用者それぞれの担当を決めている	○	地域には開設時にお願いしている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
69	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	十分配慮してはいるが見ても見ても見切れない事があり事故につながることもありえる事を入居時に説明している	○	緊急時の連絡先、搬送する医療機関、入院、退院時の対応など説明しているが今後もその都度家族と相談なして行きたい
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
70	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	小さな気づきを常に心がけ自己判断するのではなくこれでいいのかなと考え他のスタッフに情報提供しお互いが確認している。	○	事故判断の危険性については今後も折を見て繰り返し話していく
71	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各種の多様な薬があり処方時の説明書をファイルに添付し理解している		
72	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	下剤は極力避けて十分な水分補給と果物、野菜、牛乳の摂取に心がけている		
73	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔洗浄は声がけや見守りで行っている。またイソジンでのうがいも習慣づけしている		
74	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量は約800～1000mlを目安に、魚介、肉類、野菜が均等に摂れるようにしお粥、刻みなど工夫している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
75	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	入居者、職員、は手洗いの励行、うがい、手摺りや椅子など消毒液で掃除をしている	○	面会者の感染者にはマスクの着用、面会制限、職員の体調不良者には必ず医師の診断を受ける事など決めている
76	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材はその都度購入し日付をつけわかる様にし大量に購入する事はない。調理器具は毎日夜勤でつけおき消毒している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
77	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前に花や野菜を植えていて通りがかりの方にも目に留まるようにしている。又スロープの設置もあり車椅子の出入りが安全に出来るようにしている		
78	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホール中央に季節ごとの飾りを作り、季節を感じるように配慮、玄関には3脚の椅子を置き出入り時の利便さと飾りをかねている		
79	○共用空間における居場所づくり 共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	TVの前にソファとたたみを置き仲間と過ごす事が出来る		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
80	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族に働きかけはしているが思うように持参してくれない	○	今後も働きかけていく
81	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	昨年の指導もあり毎日行っている		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
82	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホール、居室にはなるべく不要な物を置かないようにしている		
83	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	その能力に応じ移動に時間を必要とする方や夜間トイレが頻回、ADLなどを考慮している		
84	○建物の活用 建物を利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	行事の時など踊りが出来るようにしたり入居者全員が一つのユニットで合同でレクなどを行っている		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

Ⅴ. サービスの成果に関する項目(ほたるのさと)		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
85	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない 殆どのスタッフが本人の意向を知っているが、スタッフの退職・新規採用等ですべてとは言えない。
86	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない 週に4～5回は何とか行いたい、仕事に追われることもあり、思うようにできていない。
87	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんどいない 自由に施設内では暮らしている。
88	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんどいない 日々の生活の中で好きなことがでている時には喜びを表現する。
89	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんどいない 気候の状態にもより、なるべく外へ出る機会を作っている。
90	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんどいない 全ての利用者には十分配慮している。
91	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんどいない 要望に応じているがその時々事情もあり、できないこともある。
92	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない 信頼関係を築くための努力はしている。
93	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない ホームになじみのある人や地域の人々が訪ねてくる時は行事の時のみであるため、気軽に立ち寄っていただけるよう努力していきたい。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	
94	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない	推進会議の開催、広報等を通し、グループホームの役割を理解して頂けるよう努力している。
95	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない	看取り迄と思うと今の人員配置ではゆとりがなく又介護現場での未経験者が少なく努力はしているが大変だと思っている人が多い。
96	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	大半はまあまあ満足していると考えているがまだまだ不足している。
97	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない	大体が満足していると思っている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- (1) できるだけ本人、家族の要望に答える様努力しているが私達スタッフ全員がグループホームの役割を理解するには時間を要すると思っているし、今後の課題と考えている。
- (2) ホールに四季折々のかざりつけをし、利用者家族には四季感を感じて頂ける様にしている。
- (3) しゅんの食材を十分取り入れ、調理し、味わってもらっている。